

地理 B

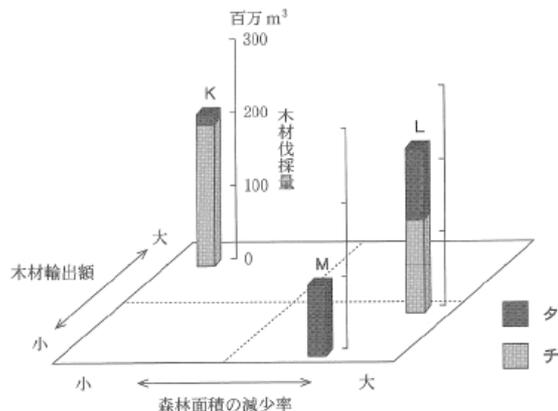
第2問 問5

原理原則の理解を踏まえて考察する問題

問5 リナさんたちは、環境への負荷の軽減に寄与する森林資源に注目し、資源とその利用についてまとめた。次の図4は、いくつかの国における森林面積の減少率、木材輸出額、木材伐採量を示したものであり、K～Mはエチオピア、ブラジル、ロシアのいずれか、凡例タとチは薪炭材と用材*のいずれかである。ブラジルと薪炭材との正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

11

*製材・ベニヤ材やパルプ材などの産業用の木材。



森林面積の減少率は1995年から2015年までの変化。森林面積の減少率と木材輸出額は相対的に示してある。統計年次は2017年。FAOSTATなどにより作成。

図 4

	①	②	③	④	⑤	⑥
ブラジル	K	K	L	L	M	M
薪炭材	タ	チ	タ	チ	タ	チ

出題の特徴

共通テストでは定番となった「凡例」と「国名」を、組み合わせ形式で問う出題です。

複数の要素の中から、身につけている知識をもとに着眼点をみつけ、ステップを踏んで論理的に正解を導く力が求められました。

指導のご提案

今年の共通テストでは、すべての設問が何らかの資料をもとに出題されました。初見の資料や見慣れない形式の出題であっても、身につけた知識をもとに、どこに着目するかを見つける力が大切です。

授業の中では、資料を読む着眼点を身につけることができるように、「発問」を通して、複数の実例(具体例)から理論を導き出す、逆に学んだ理論(原理原則)が具体化されている例を探すような実践を重ねることが有効だと考えられます。

2022年度大学入学共通テスト

「地理B」

受験者数: 141,375人

平均点: 58.99点

標準偏差: 16.23

地理 B

第3問 問3

複数の指標を比較して概念を具体化する問題

問3 先進国の大都市内部の衰退した地区において、専門的職業従事者などの経済的に豊かな人々の流入と地区の再生が進む現象は、ジェントリフィケーションという概念で説明される。次の図3は、ある先進国の大都市の中心業務地区付近の概要といくつかの指標を示したものである。ジェントリフィケーションがみられる地区として最も適当なものを、図3中の①～④のうちから一つ選べ。

15

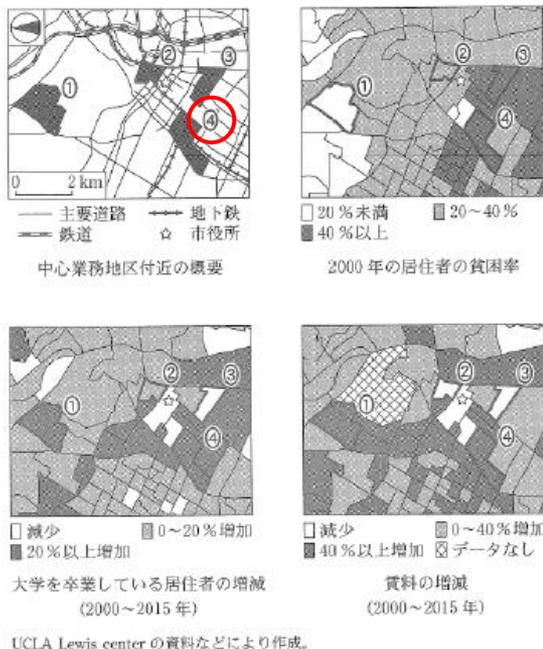


図 3

出題の特徴

大都市の内部構造について、異なる指標を示した4つの図をもとに、ジェントリフィケーションがみられる地区を判断する問題です。

設問文にあるジェントリフィケーションの説明をもとに、概念の理解と、統計地図の読解の技能、さらには比較することで具体的なイメージを導く地理的な思考力が求められました。

指導のご提案

用語の意味を知っているだけでなく、具体的にイメージできることが、資料をより深く読み込むことにつながります。

地理的思考力の育成には、具体的なテーマに対して、必要な資料を探し、時には複数の資料を組み合わせたり比較したりして、論理的に考えていくという探究的な授業が有効です。その中で、理論だけではなく具体的な景観や生活を想起させるような働きかけをされることをおすすめします。

2022年度大学入学共通テスト

「地理B」

受験者数： 141,375人

平均点： 58.99点

標準偏差： 16.23

教材のご紹介

教材のご紹介… 「2023共通テスト対策【実力完成】直前演習 地理B」

複数の資料を比較して具体例と結びつける問題

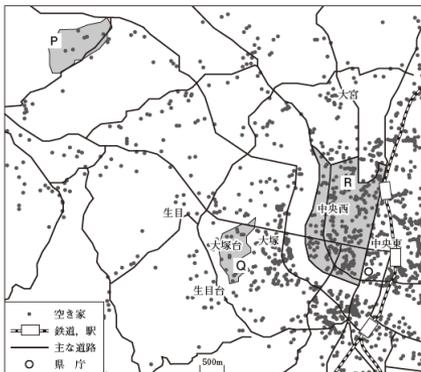
解答解説

重要な問題は、ステップを踏んで解説しています

第2回 第3問

問7 次の図8は、ある都市における空き家の分布を示したものである。アサさんは「高齢化が進んだことで空き家が増加した」と仮定して、次ページの表1を作成した。表1は、図8中のP～Rの地域の人口に占める65歳以上の割合の推移を示したものである。また、次ページのハ～フは、P～Rのいずれかの地域に空き家が発生した要因について述べたものである。P～Rとハ～フとの正しい組合せを、あとの①～⑥のうちから一つ選べ。 **20**

*建築物が居住やその他の使用がなされていないことが常態であるもの。



自治体資料により作成。

図8
表1

	(単位：%)	
	2000年	2015年
P	28.7	38.9
Q	11.8	36.1
R	17.5	21.3

自治体資料により作成。

- ハ 同時期に、同世代の人々が入居してきたことから、高齢化が進み空き家となっている。
- ヒ 人口の流出と高齢化が一貫して進んでおり、空き家となっている。
- フ 人口の流入はみられるが、古からの建物が多く、次の借り手が見つからず空き家となっている。

	①	②	③	④	⑤	⑥
P	ハ	ハ	ヒ	ヒ	フ	フ
Q	ヒ	フ	フ	ハ	ハ	ヒ
R	フ	ヒ	フ	ハ	ヒ	ハ

4つのSTEPで攻略!

STEP1

設問文から何が問われているかを把握しよう

STEP2

前提となる知識を整理しよう

STEP3

資料を読み取ろう

STEP4

選択肢を確認しよう

共通テスト 対応力UP!!

第3問 問7 20 正解④ 3地域の空き家の発生要因をデータから考える

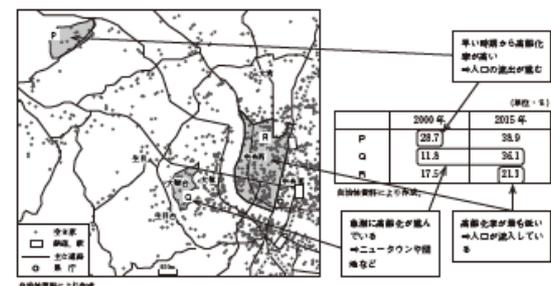
STEP1 設問文から何が問われているかを把握しよう

問7 次の図8は、ある都市における空き家の分布を示したものである。アサさんは「高齢化が進んだことで空き家が増加した」と仮定して、次ページの表1を作成した。表1は、図8中のP～Rの地域の人口に占める65歳以上の割合の推移を示したものである。また、次ページのハ～フは、P～Rのいずれかの地域に空き家が発生した要因について述べたものである。P～Rとハ～フとの正しい組合せを、あとの①～⑥のうちから一つ選べ。 **20**

*建築物が居住やその他の使用がなされていないことが常態であるもの。

- 1 国語と地理1から、P～Rがどういう地域なのかを考えよう
- 2 1をふまえて、それぞれの「空き家」の発生要因を結びつけよう

STEP2 資料を読み取ろう



STEP3 選択肢を確認しよう

- ① 一帯に高齢化が進んでおり、人口の流出と高齢化が一貫して進んでおり、空き家となっている。
- ② 人口の流入と高齢化が一貫して進んでおり、空き家となっている。
- ③ 市街地から離れているため、早くから人口流入が進んでいる。
- ④ 人口の流入はみられるが、古からの建物が多く、次の借り手が見つからず空き家となっている。

	①	②	③	④	⑤	⑥
P	ハ	ハ	ヒ	ヒ	フ	フ
Q	ヒ	フ	フ	ハ	ハ	ヒ
R	フ	ヒ	フ	ハ	ヒ	ハ

2023版は6月発刊予定で、4月から見本請求の受け付けを開始します。

共通テスト対策 実力完成 | 直前演習

2023 共通テスト 60分×6回

地理B

定価880円(税込み)

誌面・収録回は2022版のものです。